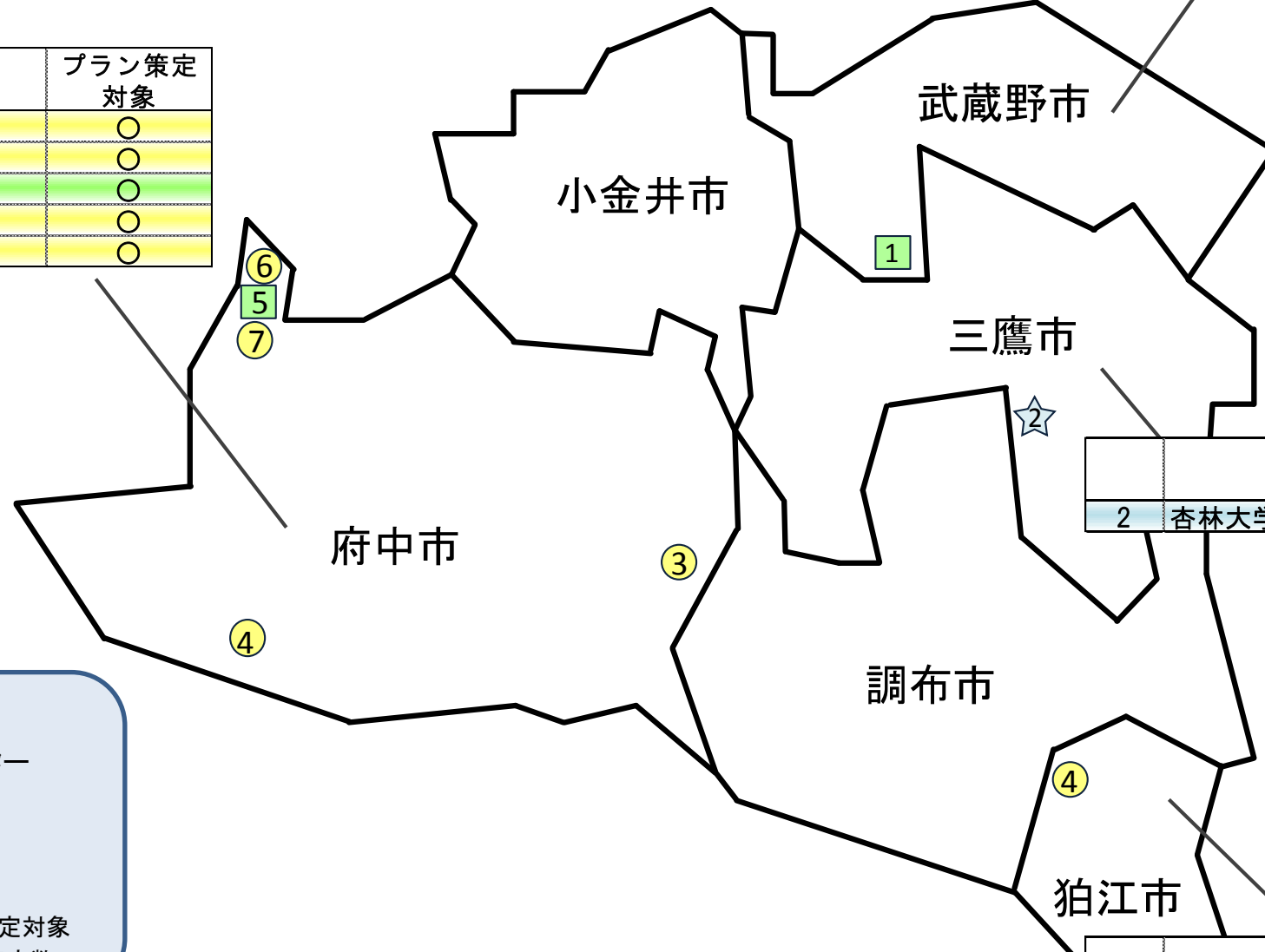


主な医療機関
北多摩南部

	医療施設名	プラン策定対象
1	武蔵野赤十字病院	○

	医療施設名	プラン策定対象
3	榊原記念病院	○
4	府中恵仁会病院	○
5	多摩総合医療センター	○
6	小児総合医療センター	○
7	神経病院	○



	医療施設名	プラン策定対象
2	杏林大学医学部附属病院	○

凡例

- ☆ 特定機能病院・救命救急センター
- ⊙ 特定機能病院
- 救命救急センター
- その他（一般300床以上、プラン策定対象病院）
※病床は許可病床数

	医療施設名	プラン策定対象
8	東京慈恵会医科大学附属第三病院	○

<2025年の医療需要>

機能 (医療資源投入量)	高度急性期機能 (3,000点～)	急性期機能 (600～3,000点)	回復期機能 (175～600点+回リハ)	慢性期機能 (～175点)
患者数	1,072(人/日)	2,408(人/日)	2,373(人/日)	1,427(人/日)
病床数の必要量	1,429(床)	3,087(床)	2,637(床)	1,551(床)

<平成28年度病床機能報告>

機能 (自己申告)	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
病床数	3,040(床)	2,142(床)	754(床)	1,553(床)
病床稼働率	87.6(%)	85.0(%)	92.5(%)	86.4(%)
平均在院日数	8.6(日)	12.4(日)	55.1(日)	125.3(日)

<平成29年度までの調整会議における議論の到達点>

地域の特徴

- 急性期機能、慢性期機能の病床稼働率が低い
- 退院後に在宅医療を必要とする患者割合が高い
- 回復期・慢性期機能において退院調整部門を置く病院の割合が低い

課題

- 地域の中で患者を受け止められるよう、入退院調整の取組を充実・強化することが必要
- 患者の状態、医療機関の対応可能な機能など、様々な情報を地域の中で共有することが必要



解決に向けたキーワード

- 役割分担 ○情報共有・ICT ○人材育成・確保

<地域医療構想推進事業>

地域医療構想推進事業を活用して整備された病床(カッコ内は補助対象病床)

	病院名	所在
1	桜町病院	小金井市
	地域包括ケア病床（48床）	

<プラン策定対象病院>

		病院名	所在区市	特定機能病院	地域医療支援病院	指定状況										平成28年度病床機能報告における病床数					将来的に目標とする病床数					
						救命救急センター	こども救命	指定二次救急医療機関	小児救急医療機関	災害拠点病院	CCU医療機関	脳卒中	t-PA	がん	小児がん	周産期センター	周産期連携病院	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能	休棟等	高度急性期機能	急性期機能	回復期機能	慢性期機能
69	1	日本赤十字社東京都支部武蔵野赤十字病院	武蔵野市		●	●		●	●	●	●	●	●	●			547	64				540	46			
70	2	杏林大学医学部付属病院	三鷹市	●		●		●	●	●	●	●	●	●			1015				106	430	691			
71	3	公益財団法人日本心臓血圧研究振興会附属榊原記念病院	府中市		●			●			●						320					320				
72	4	府中恵仁会病院	府中市		●			●			●	●	●				5	134				78	5	146	66	
73	5	多摩総合医療センター	府中市		●	●		●			●	●	●	●			586	119				586	119			
74	6	小児総合医療センター	府中市		●		●	●	●					●	●		331	16				319	16			12
75	7	神経病院	府中市														8	136	160			8	108	188		

※CCU医療機関:東京都CCUネットワーク加盟施設 / 脳卒中:東京都脳卒中急性期医療機関 / t-PA: t-PA対応可能施設 / がん:都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、東京都がん診療連携拠点病院 / 小児がん:小児がん拠点病院、東京都小児がん拠点病院 / 周産期センター:東京都総合周産期母子医療センター、東京都地域周産期母子医療センター / 周産期連携病院:周産期母子医療センターと連携の下、ミドルリスクの妊産婦に対応する病院

※将来的に目標とする病床数は、「公的医療機関等2025プラン」に記載された2025年度の機能別病床数を指す。ただし、公立病院及び公社病院については、「平成29年度病床機能報告」で6年後の病床数として報告された数字としている。